普通徴収切替記載例

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

年度　1．現年度　2．新年度　3．両年度

第十八号様式（用紙日本産業規格Ａ４）（第十条関係）

狭山市長 殿

令和〇〇年〇〇月〇〇日提出

給与支払者（特別徴収義務者）

所在地	〒012-3456 〇〇県××市１－２－３
フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ
氏名又は名称	株式会社　〇×商事
個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1（←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載）

特別徴収義務者指定番号：１２３４５６
宛名番号：１２
担当連絡者先：所属　人事部人事課／氏名　特徴　花子／電話　00-0000-0000　内線（　123　）

給与所得者

フリガナ	サヤマ　イチロウ
氏名	狭山　一郎
生年月日	昭和 50 年 1 月 1 日
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
受給者番号（任意）	0123－4567
１月１日現在の住所	〇〇県××市４－５－６
異動後の住所	同　上

（ア）特別徴収税額（年税額）	（イ）徴収済額	（ウ）未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
140,000 円	6 月から 8 月まで　35,600 円	9 月から 5 月まで　104,400 円	×× 年 8 月 20 日	1（右から番号を記入）1．退職　2．転勤　3．休職・長期欠勤　4．死亡　5．支払少額・不定期散他　6．合併・解散　7．その他（事由・理由）	3（右から番号を記入）1．特別徴収継続　2．一括徴収　3．普通徴収（本人納付）

8月中に退職した方の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

（ア）特別徴収税額（年税額）140,000円（6月分～翌年5月分）
（イ）徴収済額　35,600円（6月分～8月分）
（ウ）未徴収税額　104,400円（9月分～翌年5月分）
↓
普通徴収税額

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）

特別徴収義務者指定番号	
所在地	〒
フリガナ	
氏名又は名称	
内線（　）	

新しい勤務先へは、月割額　　円を
　　月分（翌月 10 日納入期限分）から
徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号（任意）
納入書の要否（新規の場合のみ記載）　　右から番号を記入　1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由　　右から番号を記入

1．異動が令和４年 12 月 31 日までで、一括徴収の申出があったため
2．異動が令和５年１月１日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日	徴収予定額（上記（ウ）と同額）
月　日	円

左記の一括徴収した税額は、
　　月分（翌月 10 日納入期限分）で
納入します。

3．普通徴収の場合

理由　1（右から番号を記入）

1．異動が令和４年 12 月 31 日までで、一括徴収の申出がないため
2．令和５年５月 31 日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため
3．死亡による退職であるため

※市町村記入欄

【提出先】　〒350-1380　埼玉県狭山市入間川１丁目２３番５号　狭山市役所総務部市民税課　【電話】04-2953-1111